

会 告

昭和 46 年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。表彰規程および下記募集要項をご参照のうえ、ふるって推薦または応募されますようお願いいたします。ただし、土木学会賞のうちの功績賞については公募いたしません。

◎土木学会賞候補募集要項

項目 種別	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞	田 中 賞
候補対象	土木事業の計画、設計または施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な業績を対象とし、次の各項について選考する。 1. 土木事業の計画、設計または施工等に関する業績 2. 土木事業の計画、設計、施工等に関する総合的な業績	(論文賞) 土木学会誌、論文報告集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩、発展に独自の業績をあげ、顕著な貢献をなしたものの。 (論文奨励賞) 土木学会誌、論文報告集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩、発展に寄与し、独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として受賞時(47年5月末日)に満36才未満である者。	コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する優秀な研究、工事等を行った者に授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する学・協会に研究報告またはそれらに類似の刊行物に発表されたものは、それらの要旨が意欲されたものの中から選ばれる。	(論文) 橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。 (作品) 鋼およびコンクリートなどの橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有する物を対象とする。各グループについて、選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの
受賞候補者	個人または団体。	本会会員に限る。 過去の受賞者は、論文賞、論文奨励賞の種別における同一の賞の候補者になることができない。昭和39年以前の旧制度による土木受賞者は既受賞者とみなす。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者になることができない者が含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。 共著者(共同研究者)を受賞候補者からほかに推薦する場合は、必ず受賞候補者の当該論文(研究)に対する貢献度を具体的に明記すること。	個人または研究グループ。 ただし、外国国籍の者は、本会会員であって、その候補対象を土木学会の誌、論文報告集、その他土木学会の刊行物に発表した者に限る。過去の吉田受賞者は、重なる候補となることができないが、既受賞者(共同研究者)になることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。共著者(共同研究者)を受賞候補者からほかに推薦する場合は、必ず受賞候補者の貢献度を具体的に明記すること。	(論文) 個人またはその複数。ただし、外国国籍を有する者の論文については、日本において最初に発表されたものに限る。また、過去の田中受賞者は重なる田中賞候補となることができない。共著者(共同研究者)のうち既に受賞者、受賞候補者となることができない者が含まれている場合は、受賞候補者に加えることはできない。なお、共著者(共同研究者)を受賞候補者からほかに推薦する場合は、必ず受賞候補者の貢献度を具体的に明記すること。 (作品) 作品自身を対象とするもので受賞候補者ではない。
候補の範囲	昭和45年1月1日から昭和46年12月31日までの間にできた業績であって日本国内において実施されたものに限る。	昭和45年1月1日から、昭和46年12月31日までの間に発表されたもので、土木学会誌、論文報告集、その他土木学会の刊行物に登載されたものを、他学・協会、大学、官公庁、会社などの刊行物に登載されたものを含む。 なお、同一の問題につき当該期間以前においても論文が発表されている場合には前期に該当する論文にその過去における発表論文を加えて総合題目として候補の対象とすることもできる。		(論文) 論文賞・吉田賞に同じ。 (作品) 昭和45年1月1日から昭和46年12月31日までの間に計画、設計した構造物で日本人によって完成した構造物では施工されたものに限る。なお、完成の時期については、原則的には普通の橋梁等では、供用開始のときその他一連の工事の一部としての橋梁等の構造物では、その自身の完成したと見なされるときとする。
推薦(応募)の方法	推薦者は、会員、支部、土木事業に関連する学・協会、法人とする。 推薦者は、別に定める推薦書、候補業績の要旨各1部を提出する。なお、当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	推薦者は、会員、支部その他一般とするが、会員みずからの応募であってもよい。 推薦者は、別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文報告集以外に発表された場合は、推薦書に添えて本文および審査に必要な資料6部と、別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	推薦者は、会員、その他一般とする。 推薦者は、別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文報告集以外に発表された候補論文は、推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。	(論文) 推薦者は、会員、支部、その他一般とする。 推薦者は、別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文報告集以外に発表されている場合は、推薦書に添えて審査に必要な資料25部を提出しなければならない。 (作品) 推薦者は、会員、支部、その他一般として、受賞候補に関与した当事者であってもよい。 推薦者は、別に定める推薦書1部を提出する(写真は25枚添付すること)。
(推薦および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)				
審査	表彰委員会において行なう。ただし、審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行なう。なお、必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求められることがある。	吉田賞選考委員会において行なう。	田中賞選考委員会において行なう。田中、必要あるときは、さらに関係資料の提出を求められることがある。
表彰	第58回通常総会において行ない、賞牌、賞状を贈る。	第58回通常総会において行ない、賞牌、賞状、賞金を贈る。	第58回通常総会において行ない、賞牌、賞状、賞金を贈る。	第58回通常総会において表彰する。
締切日	昭和47年1月20日			
提出先	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	土木学会論文賞選考委員会	土木学会吉田賞選考委員会	土木学会田中賞選考委員会

## 土 木 学 会 表 彰 規 程

### (総則)

第1条 土木学会規則第34条による表彰はこの規程による。

### (賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞(総称)を授与して行なう。

1. 功 績 賞
2. 技 術 賞
3. 論 文 賞
4. 吉 田 賞
5. 田 中 賞

### (功績賞)

第3条 功績賞は土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められるものに授与する。

### (技術賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

### (論文賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文報告集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

(2) 論文奨励賞は本会会員であって、土木学会誌、論文報告集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考察などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として受賞時に満36才未満であるものに授与する。

### (吉田賞)

第6条 吉田賞はコンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する優秀な研究、工事等を行なったと認められるものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。

### (田中賞)

第7条 田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

#### (1) 論 文

橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究結果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。

#### (2) 作 品

橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有すると認められる物を対象とし、長大橋梁、中小橋梁、その他特殊橋梁および橋梁に関連あるもののグループ別に選ばれる。

### (委員会)

第8条 土木学会賞を選考するため次の委員会をおく。

1. 表 彰 委 員 会
2. 論 文 賞 選 考 委 員 会
3. 吉 田 賞 選 考 委 員 会
4. 田 中 賞 選 考 委 員 会

(2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行ない、土木学会賞受賞候補を決定する。

(3) 論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行なう。

(4) 吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行なう。

(5) 田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行なう。

(6) 前記各委員会の構成、運営、その他については別に内規で定める。

### (賞の決定、表彰の時期・方法)

第9条 土木学会賞は理事会において決定し、表彰は原則として毎年1回通常総会において賞状、賞状等を授与して行なう。

### ◎古田研究奨励金候補の募集

#### 1. 候補対象

コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する研究に従事する者で、特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、授与される者が、原則として満40才以下の者に限り、かつ、特殊な場合を除き、同一研究計画に対しすでに古田研究奨励金を授与されたものを除く。

#### 2. 募集の題目

##### (1) 要望課題

コンクリートの複合機構に関する研究

##### (2) 自由課題

#### 3. 募集の方法

日本の国籍を有する個人または研究グループの応募による。

#### 4. 研究成果の報告

研究成果は文書により古田賞選考委員会に提出するほか、昭和48年10月中旬施行の第28回年次学術講演会において古田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

#### 5. 応募の方法

一定様式による研究計画書1部を提出する。

(計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから、必ずその用紙を使用して下さい)

#### 6. 審 査

古田賞選考委員会において行なう。

#### 7. 締 切 期 日

昭和47年1月20日

#### 8. 提 出 先

郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会古田賞選考委員会

### ◎昨年度の土木学会賞受賞者（敬称略）

功 績 賞：梶島 茂 土木工学ならびに土木事業の進展

岡田 信次

技 術 賞：日本鉄道建設公団 京葉線羽田トンネル多摩川横断部沈没トンネル工事

阪神高速道路公団 万葉博覧会関連の都市高速道路の建設

論 文 賞：市原 松平 { 干置ひずみ状態と軸対称ひずみ状態における乾燥砂のせん断特性  
{ 懸置位中における土圧特性と裏込め砂せん断特性の関連

佐藤 裕

樋口 芳朝

道床部に着目した新軌道の研究

論文奨励賞：坂井 藤一 薄肉平板より成る立体的構造物の静力学的解析に関する一方法と応用

星谷 勝 確率論的手法にもとづく構造解析に関する一連の研究

古 田 賞：山田 順治

寺本 秀男

塚山 隆一

急速施工を旨とした特殊セメントの開発並びに実用化

田 中 賞：論文部門 該当なし

作品部門

{ 神戸大大橋

{ 富士川水管橋

{ 加古川橋梁

## 第 8 回衛生工学研究討論会

▶ 1 月 28 日 (金) ~ 29 日 (土) ◀

土木学会衛生工学委員会では、下記のとおり研究討論会を開催致しますので、多数ご参加下さいませようご案内いたします。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1972 年 1 月 28 日 (金), 29 日 (土)
3. 場 所：土木学会土木図書館講堂 (新宿区四谷 1 丁目無番地)
4. 論 文 内 容：本年度は自由題目といたします。
5. そ の 他：講演申込みは締切りました。講演採用の連絡のあった方は期日までに原稿を御提出下さい。
6. 提 出 先：土木学会衛生工学委員会 (新宿区四谷 1 丁目)

## 昭和 46 年度秋のエキスカージョンについて ▶ 11 月 30 日 (火) ~ 12 月 1 日 (水) ◀

土木学会では毎年会員の親睦と工事現場の見学を兼ねて秋にエキスカージョンを実施しておりますが、本年度は世界第 9 位の関門橋と世界第 2 位の新関門トンネルならびに阿武川ダムの三工事の見学と山口県内の観光を下記により実施いたしますので会員諸氏のご参加をおすすめします。

1. 期 日：1971 年 11 月 30 日 (火) ~ 12 月 1 日 (水)
2. 集 合 場 所：山陽本線下関駅東口駐車場, 11 月 30 日 13 時まで
3. 見学コース：下関駅→新関門トンネル→(国鉄山陽新幹線)→関門橋 (道路公団)→仙崎鯛養殖場→長門湯本温泉 (泊)→秋芳洞→阿武川ダム建設現場 (山口県)→萩市 (昼食・観光)→(西海岸廻り)→下関駅
4. 解 散 場 所：山陽本線下関駅, 12 月 1 日 16 時 30 分
5. 定 員：50 名
6. 会 費：6 000 円 (1 泊 3 食, パス代, 入場料)
7. 申 込 方 法：参加希望者は 11 月 15 日までに会費を添えて東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事業課までお申込み下さい。なお, 期限前でも定員になり次第締切ります。

## 第 16 回水理講演会

▶ 2 月 18 日 (金) ~ 19 日 (土) ◀

第 16 回水理講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972 年 2 月 18 日 (金) ~ 19 日 (土)
2. 会 場：発明会館 (東京都港区西久保明舟町 17 番地・地下鉄虎ノ門下車徒歩 3 分)
3. 主 催：土木学会水理委員会
4. 課 題：A. 移動床流れの粗度と河床形状  
B. 構造物周辺の流れ (局所流) C. 流出解析 (統計を含む)
5. 申込方法, その他：講演採用の連絡のあった方は期日までに原稿を御提出下さい。
6. 講演原稿締切期日：1971 年 12 月 11 日 (土) (厳守)

## 河川災害に関するシンポジウム

▶ 2 月 19 日 (土) ◀

第 16 回水理講演会終了後、水理委員会後援のもとに標記シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さいませようご案内致します。

1. 期 日：1972 年 2 月 19 日 (土) 13.30 ~
2. 会 場：発明会館
3. そ の 他：詳細は次号でお知らせします。

## 第7回岩盤力学に関するシンポジウム

▶ 2月24日(木)~25日(金)◀

第7回岩盤力学に関するシンポジウムを下記により開催いたしますのでご案内致します。

1. 期 日：1972年2月24日(木)~25日(金)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
4. 講演原稿締切期日：1971年12月20日(月)

○講演申込みは締切りました。

## 映画開催について&lt;於土木学会講堂&gt;

▶ 12月11日(土)◀

1. 場 所：土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車)
  2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00~12月11日(土)です。
  3. 上映映画：12月は橋梁関係を予定しております。  
「主塔」(関門吊橋)、「尾道大橋」,「天草五橋」その他  
なお、上映映画は都合により変更することがございますのであらかじめご了承下さい。
  4. 参加費：無料、土木関係以外の方も歓迎致します。  
本映画会に関する問合せは 土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。(電 03(351)5130)。
- 共 催：土木学会関東支部

## 第6回土木計画学シンポジウム&lt;土木学会&gt;

▶ 1月25日(火)~26日(水)◀

今回のシンポジウムは、土木計画学の体系化への一環として、計画プロセスおよび評価システムの問題を主題とします。前回のシンポジウムにおいては、具体的な事例を対象として、土木事業の計画から運用に至るまでのプロセスを討論してきましたが、今回は、これらの討論結果をふまえて、現在、計画者がかかえている実際の諸問題を解明してゆこうとするものです。

具体的な進め方としては

- ① 第5回土木計画学シンポジウムのまとめ
- ② 計画プロセスのパネルディスカッション
- ③ 評価のための分析モデルについての討論

を行ないます。

なお、今回は2日間にわたり、討議に十分な時間をかけ、討議内容をおって発行するプロシーディングに収録致しますので、各位ふるってご参加願います。

土木計画学研究委員会

1. 期 日：1972年1月25日(火)~26日(水)
2. 時 間：9.30~17.00(両日とも・予定)
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目無番地/国電・地下鉄四ツ谷駅際外濠公園内  
電話 03-351-5138 番)
4. 主 題：土木計画の評価システム・その2
5. 申込方法：参加希望者は、官製葉書に、① 氏名、② 所属官職名、③ 連絡先郵便番号・住所・所属・電話、④ 会員区分、⑤ 連絡事項、を記入のうえ、1971年12月末日までに下記あて申込んで下さい。おりかえし、参加票をお届けします。
6. 参加費：会員1500円、会員外2000円  
ただし、前副代およびおって発行される「第6回土木計画学シンポジウム」(プロシーディング)の図書代を含みます。参加費は、当日「参加票」とあわせ受付にて徴収いたします。
7. 定 員：100名(一般・受付順)
8. 申 込 先：土木学会編集課
9. 備 考：シンポジウムを要領よく進めるために、事前に「第5回土木計画学シンポジウム」(1971年8月発行)(定価900円・送料100円/会員特価800円・送料100円)をおめとおしただきたい。

# 第18回風に関するシンポジウム

▶ 11月26日(金) ▶

1. 期 日: 1971年11月26日(金) 9.30
2. 会 場: 気象庁講堂(東京都千代田区大手町1-7) 電話 212-8341  
地下鉄: 竹橋(東西線)・大手町(丸の内線)下車
3. 共催学会: 地震学会・土木学会・日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空宇宙学会・日本地理学会・日本農業気象学会(幹事)・日本林学会
4. プログラム:
 

午前(司会: 光田 肇 京大防災研)	9.30~9.50 ① 並列円柱の相互干渉に関する風洞実験 日大理工 ○広部 正久・田治見 宏・日大生産 亀井 勇
	9.50~10.10 ② 運動する角柱に作用する風圧力 日大生産 亀井 勇・鹿島技研 ○本郷 剛
	10.10~10.30 ③ SHFアンテナの設計用風力係数に関する実験的研究 日大生産 亀井 勇・電々電気通信研 木村 栄一・電々建築局 松下一郎
	10.30~10.50 ④ 高層建築物の周辺気流 鹿島技研 小林 正二・○吉田 正昭・中村 修
	10.50~11.10 ⑤ 建築物の局部風圧について 日大生産 亀井 勇
	11.10~11.30 ⑥ 2棟建て高層建築物の風圧相互関係に関する実験 日大生産 ○丸田 栄蔵・亀井 勇
	11.30~11.50 ⑦ 高層建築物の周辺気流に関する風洞実験 日大生産 ○高木 猛・亀井 勇・丸田 栄蔵
	11.50~12.10 ⑧ 高層建築物の強風中における構造上の安全性と人体感覚について(京王プラザホテル) 鹿島技研 小林 正二
	12.10~12.30 ⑨ 建築物表面からの熱伝達におよぼす防風施設の効果の実測と模型実験 北大農 高橋 英紀
	12.30~13.30 休 憩
	午後(司会 谷 信輝 農技研)
	13.30~13.50 ⑩ 東京附近の光化学スモッグと局地風系 気象庁 河村 武
	13.50~14.10 ⑪ 東海村における海陸風の観測 原研 ○角田 道生・須賀新一・林 隆・京大原子炉 水間満郎・岩本 智文・佐野 治彦
	14.10~14.30 ⑫ ユーゴスラヴィアのアイドフシテナ地域における「ボラ」に関する一観測 法政大 ○吉野政敏と協力者
	14.30~14.50 ⑬ 微風の特性について お茶の水女子大 ○坂上 治郎・吉本 紀子・森田 文子
	14.50~15.10 ⑭ 地表面における内部境界層についての2,3の考察 気象庁 根本 茂
	15.10~15.30 ⑮ 高さHの面源からの地上濃度の計算 お茶の水女子大 坂上 治郎
	15.30~15.50 ⑯ 煙突からの腐塵の沈着量の計算 お茶の水女子大 ○坂上 治郎・鈴木英佐子・岩田 義一
	15.50~16.10 ⑰ 東大宇航研に新設された大気乱流風洞 宇航研 ○恩田 善雄・斎藤 隆雄・佐藤 浩
	16.10~16.30 休 憩
	16.30~17.00 特別講演 農技研 井上 栄一
5. 懇親会: 終了後1階食堂にて 食費 500円

## “構造物及びその構成要素の強度と安全性”に関する研究発表会 ▶12月3日(金)◀

### (第18回橋梁・構造工学研究発表会)

標題の研究発表会を下記により開催いたしますので、多数ご参加下さいませようご案内致します。

1. 共 催: 日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
2. 期 日: 1971年12月3日(金) 9.30~17.00
3. 会 場: 土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目)
4. 会 費: 聴講無料
5. 講演概要: 会場にて実費頒布
6. プログラム:
 

9.30~9.35	開会の辞 日本学術会議構造研究連絡委員会橋梁・構造工学分科委員会委員長 仲 威雄
9.35~9.45	(1) 衝撃力を受ける Timoshenko はりの弾塑性応答について 石川高専 ○出村 福典・金沢大学 小堀 為雄
9.45~9.55	(2) 変動荷重を受けるはりの動的弾塑性解析 宮崎大学 太田 俊昭
9.55~10.05	(3) Cyclic Plasticity を受ける鋼構造物の履歴応答解析への1アプローチ 名古屋大学 多賀 直恒
10.05~10.15	(4) 弾塑性建築架構の構成要素の地震応答 京都大学 小堀 譚二・京都防災研 南井良一郎・京都大学 ○藤原 悌三
10.15~10.25	(5) 振動台を用いた鉄骨系プレハブ住宅の耐震評価 建設省建築研究所 渡辺 丹
10.25~10.35	(6) モルタル充填鋼管の引張耐力 東京大学 加藤 勉・横浜国立大学 ○青木 博文・東京大学 山内 恭光・井上 景彦
10.35~11.05	討 論 (1)~(6)

11.05~11.15	休 憩	
11.15~11.25	(7)	鉄筋コンクリート柱のせん断耐力と変形 京都大学 六車 熙・富永 恵・渡辺 史夫
11.25~11.35	(8)	せん断破壊をともなり鉄筋コンクリート柱の履歴特性に関する実験的研究 京都大学 若林 実・大阪工大 南 宏一 広島大学 嶋津 孝之
11.35~11.45	(9)	鉄筋コンクリートトラス構造の研究
11.45~11.55	(10)	地震荷重をうけるPCはり、柱接合部の変形状に関する研究 京都大学 六車 熙・富永 恵・後藤 英逸・佐野喜志夫
11.55~12.15	討 論 (7)~(10)	
12.15~13.15	昼 食	
13.15~13.25	(11)	強震時における構造物の動的挙動と疲労破壊について 金沢大学 水上 義彦・小堀 為雄・コロンビア大学 篠塚 正宣
13.25~13.35	(12)	走行荷重による道路橋の疲労寿命推定に関する確率統計的研究 京都大学 小西 一郎・白井 勝之
13.35~13.45	(13)	T.C ボルトの導入軸力の大きさとバラツキについて 神戸大学 西村 昭・ 阪神高速道路公団 田井戸米好・片山鉄工所 佐伯 礼行・穂積 重臣・小沢 健作
13.45~13.55	(14)	低強度溶接材料による高張力鋼溶接継手の力学的特性 日本鋼管 嶋田 正大 東京都立大学 堀川 浩甫
13.55~14.05	(15)	低強度溶接材料による高張力鋼継手の繰り返し載荷特性 東京大学 奥川 清志・東京都立大学 堀川 浩甫・東京大学 奥村 敏恵
14.05~14.15	(16)	鋼管トラス節点の強度に関する実験的研究 東京大学 加藤 勉・秋山 宏・鷹 顕仁
14.15~14.25	(17)	鉄道用合成樹脂の疲労耐力に関する実験的研究 国鉄構造物設計事務所 阿部 英彦・中野 昭郎・国鉄鉄道技術研究所 西郷勘次郎・江口 保平
14.25~15.00	討 論 (11)~(17)	

東北支部行事案内 (郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル) 電話 0222-22-8509

(1) 技術研究発表会

▶ 2月22日(火) ◀

1. 期 日: 1972年2月22日(火)
2. 場 所: 宮城県民会館3号室, 4号室(仙台市国分町3-3-7)
3. 定 員: 200名, 参加費無料(ただし講演概要集は希望者によりのみ当日会場にて実費頒布)
4. 応募方法: 支部事務局へ文書にて申し込むこと。申し込みにより土木学会所定原稿用紙と正規申込用紙と起稿要領その他を送る。発表者定員は80名限り(先着順締切)
5. 正規申込書締切期限: 1971年12月15日限り(原稿締切1972年1月20日限り)
6. 申 込 先: 仙台市二日町18-25 丸七ビル3階土木学会東北支部

関東支部行事案内 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内) 電話 03-351-4133

(1) 「トンネル・ボーリング・マシン」見学会

▶ 12月9日(木) ◀

神奈川県下の都市用水の需要は、いま、急激に増大しつつありますが、これに応えるために、神奈川県および横浜、横須賀、川崎の三市は「神奈川県内広域水道企業団」を設立し、総事業費1720億円を投じて、酒匂川の水源開発を中心とする水道用水供給事業を共同で進めております。

その一環として現在、小田原市内酒匂川河口部から、神奈川県中央部を横切って、相模原市に至る延長32km、内径3.8mの導水トンネルを建設中ですが、この施工には、最新鋭のトンネル・ボーリング・マシンなどによる機械掘り工法が大幅に採用され、その偉力を発揮しておりますので、今回、これを対象として下記により見学会を実施することといたしました。

記

1. 日 時: 1971年12月9日(木)  
9.00 土木学会発, 貸切バス  
18.00 新宿駅解散
2. 見 学 先: 神奈川県内広域水道企業団  
○導水路トンネル第9工区(厚木市近郊)  
川崎ジャープ使用(鹿島建設施工)

○導水路トンネル第10工区(厚木市近郊)  
小松ロビンス使用(奥村組施工)

3. 参加費: バス代, 昼食代共, 800 円
4. 定員: 50 名
5. 集合: 12 月 9 日 8.50 土木学会前
6. 申込: 参加希望者は, ①氏名, ②所属部課名, ③連絡先等を明記の上, 会費同封し, 現金書留で下記宛お申し込み下さい。  
〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会 関東支部
7. 服装: 現場が歩けるような服装。[できるだけ, 長靴をご用意下さい。保安帽は見学先で用意いたします。

(2) 「最近の杭の話題」講習会

▶ 2 月 16 日 (水) ◀

標記講習会を企画いたしております, ご期待下さい。

1. 期 日: 1972 年 2 月 16 日 (水)
2. 会 場: 東京都内
3. 内 容:
  - ① 鋼杭について
  - ② 場所打ち杭について
  - ③ PC杭について
4. そ の 他: 詳細は 12 月号会告欄でお知らせします。

(株) 間組 藤田 圭一  
東京都 青木 重雄  
本四連絡橋公団 吉田 巖

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地船場センタービル 4 号館)  
電話 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番

(1) 海外事情ならびに今後の海外活動に関する講演会 ▶ 1 月 18 日 (火) ◀

最近のわが国の技術的進歩に関連して, 土木技術者の海外活動が多くなりつつありますこの機会に, 海外事情に目を向けるとともに, 技術者の海外活動に関する諸問題について, 下記のとおり講演会を開催することに致しました。ふるってご参加下さい。

1. 日 時: 1972 年 1 月 18 日 (火) 15.00~17.00
2. 会 場: 好文倶楽部集會室 電話 大阪 (06) 345-4389 番  
大阪市北区梅田 2 第一生命ビル 12 階 国鉄大阪駅前
3. 題目と講師
 

	開 会 換 拶	土木学会関西支部長 田中 茂
15.00~15.40	① 海外活動に関する諸問題について	日本貿易振興会大阪本部調査部長 小西 猛
15.40~16.20	② アジアにおける技術者の海外活動について——ブータン・ネパールを旅して——	京都大学助教授工学部交通土木工学教室 工博 松尾 稔
16.20~17.00	③ ヨーロッパにおける技術者の海外活動について	中央復建コンサルタンツ (株) 第一設計部設計第二課長補佐 工修 内藤 隆
	閉 会 換 拶	土木学会関西支部幹事長 後藤 尚男

4. 定員: 120 名
5. 聴 講: 無料 来聴歓迎  
(お願い) 各職場班で参加予定人員をおまとのうえ 1 月 10 日 (月) までにはがきまたは電話にて土木学会関西支部までご一報下さい。  
なお本講演会終了後別掲のとおり, 会員懇親会を催しますから多数ご参加下さい。

(2) 会員懇親会

▶ 1 月 18 日 (火) ◀

1. 日 時: 1972 年 1 月 18 日 (火) 17.00 よりの予定 (海外事情ならびに今後の海外活動講演会終了後)
2. 会 場: 好文倶楽部会議室 電話 大阪 (06) 345-4389 番  
大阪市北区梅田 2 第一生命ビル 12 階 国鉄大阪駅前
3. 参加費: 1 000 円

4. 申込期限：1972年1月10日(月)
5. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先および氏名を明記(様式随意)のうえ、参加費1000円を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(3) 構造物・施設の調査に関する研究会

▶ 1月26日(水) ◀

(第3回) 土構造物の調査に関する研究会

主催：土木学会関西支部  
協賛：土質工学会関西支部

標記研究会の第3回として土構造物をとりあげました。

人工の盛土区間および天然の急斜面区間における土構造物に関して防災という立場から検討した貴重な研究の発表です。特に関西地方において特徴的なマサ土の研究もあわせて発表されます。

さらに参加各位の活発なフリートーキングの場も設けましたので、ふるってご参加下さい。

1. 日時：1972年1月26日(水) 13.00~17.00
2. 会場：大阪科学技術センター 8階大ホール 電話 大阪(06) 443-5321 番  
大阪市西区靱1丁目 118 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150m 靱公園北東角)
3. 題目と講師
 

13.00~13.05 開会挨拶 13.05~13.50 ① 法面の健全度診断 13.50~14.35 ② 地すべりの運動タイプと対策方法 14.35~15.20 ③ マサ土斜面崩壊予測とその対策 15.35~16.55 討議  16.55~17.00 閉会挨拶	土木学会関西支部長 田中 茂 国鉄鉄道技術研究所研究管理室主任研究員 農博 小橋 澄治 建設省土木研究所砂防部急傾斜地崩壊研究室長 渡 正亮 関西大学助教授工学部土工学教室 工博 西田 一彦  司会：神戸大学教授工学部土工学教室 工博 田中 茂 土木学会関西支部幹事長 後藤 尚男
---	--

4. 定員：300名

5. 聴講：無料 来聴歓迎

(お願い) 各職場班で参加予定人員をおまとめのうえ 1月12日(水) までにはがきまたは電話にて土木学会関西支部までご一報下さい。

(4) 「耐震設計と土質工学の問題点」講習会 ▶ 2月16日(水)~17日(木) ◀

主催：土質工学会関西支部  
協賛：土木学会関西支部・日本建築学会近畿支部

1. 期日：1972年2月16日(水)、17日(木)の両日
2. 会場：大阪市科学技術センター8階大ホール 電話(06) 443-5321 番  
大阪市西区靱1丁目 118 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150m 靱公園北東角)

3. 題目および講師

- |  |  |
|--|--|
| 2月16日(水)   |  |
| 10.00~11.00 ① 最近の静的地盤調査法<br>11.00~12.00 ② 耐震設計のための動的地盤調査法<br>13.00~14.00 ③ 地盤と土木構造物の震害<br>14.00~15.00 ④ 建築構造物と震害<br>15.00~16.00 ⑤ 映画またはスライド(映画未定)  | 建設省建築研究所第三研究部長 小泉 安則<br>福井大学教授 鳥海 勲<br>京都大学教授 柴田 徹<br>京都大学教授 横尾 義貴                     |
| 2月17日(木)   |  |
| 10.00~11.00 ⑥ 建築構造物基礎の耐震設計<br>11.00~12.00 ⑦ 土木構造物基礎の耐震設計<br>13.00~14.00 ⑧ 土構造物の耐震設計<br>14.00~15.00 ⑨ 電々公社大阪ゲーター通信局の基礎設計<br>15.00~16.00 ⑩ 関門大橋の基礎設計 | 関西大学教授 山岡 邦男<br>京都大学教授 後藤 尚男<br>東北大学教授 河上 房義<br>電々公社調査役 北後 寿<br>日本道路公団関門架橋工事事務所長 大橋 昭光 |

4. 定員：300名

5. 参加費：会員4000円、非会員5000円、学生会員3000円(テキスト代を含む)

6. 申込期限：1972年1月31日(月)

7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および所属学会名を明記のうえ参加費を添えて下記へお申し込み下さい。

申 込 先

(社) 土質工学会関西支部 (電話 大阪 (06) 271-6485 番) 〒 541  
 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地 船場センタービル 4 号館 409 号室  
 振替口座 大阪 33383 番

(付) テキスト頒布について

土木工事における土中水の扱い方	頒価 1 800 円	送料 120 円
工事の安全対策	〃 1 200 円	〃 120 円
公害振動測定法 (案)	〃 無料	〃 35 円
シールド工法研究会資料	〃 200 円	〃 55 円
(地下鉄シールドの問題点 シールド工事施工上の問題点の 2 点 1 組)		
写真測量とその応用	〃 1 400 円	〃 120 円
水理学・水文学における最近の進歩	〃 1 800 円	〃 150 円
プレストレストコンクリート最近の進歩	〃 1 400 円	〃 120 円
昭和 46 年度関西支部年次学術講演概要	正会員	〃 200 円 〃 150 円
	学生会員	〃 100 円 〃 150 円
	非会員	〃 700 円 〃 150 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

中国四国支部行事案内 (郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号 (自治会館内))  
 電話 0822-21-2666

(1) 土工・基礎工の安全管理と災害事故対策講習会

▶ 12 月 1 日 (水) ~ 2 日 (木) ◀

共 催：土質工学会中国支部

1. 期 日：1971 年 12 月 1 日 (水) 9.25~15.00 } 講習会  
 同 12 月 2 日 (木) 9.30~12.00 }  
 13.00~17.00 見学会
2. 会 場：岡山県建設業協会 (岡山市平和町 5-10), 電話 0862-25-4131
3. 参 加 費：会員 1 200 円, 非会員 2 000 円  
 テキスト代会員 1 200 円・非会員 1 500 円
4. 定 員：300 名
5. 申 込 方 法：氏名・勤務先・住所・会員・非会員の別を明記のうえ会費同封のうえ下記にお申込み下さい。
6. 申 込 先：土木学会中国四国支部事務局 (〒 730 広島市基町 10 番 3 号 (自治会館内)) 電話 (0822-21-2666)
7. プログラム
 

12 月 1 日 (水) 9.25~15.30	
(1) 建設工事の公衆災害防止対策	建設省計画局 西川 竜三
(2) 建設工事における労働災害の現状と施工技術の安全化の方向	労働省産業安全研究所 前 郁夫
(3) 国鉄路線の斜面災害の予測と対策	国鉄技術研究所 小橋 澄治
(4) 道路切り取り斜面の安定と崩壊の復旧	鹿島建設 芥川 真知
12 月 2 日 (木) 9.25~12.00	
(5) 無人潜水掘削機	建設省中部地建 津田 弘徳
(6) 根切り・山留め工事の災害事故例と対策	フジタ工業 田中 修身

(2) 斜面安定工法講習会

▶ 12 月 9 日 (木) ~ 10 日 (金) ◀

主 催：土質工学会四国支部・土木学会中国四国支部・日本材料学会

1. 日 時：
 

講 習	1971 年 12 月 9 日 (木) 9.00~17.00
見 学	1971 年 12 月 10 日 (金) 9.00~15.00
2. 場 所：徳島県郷土文化会館 (徳島市藍場町 3 丁目 電話 0886-22-8121)
3. 内容と講師

- |             |                 |             |       |
|-------------|-----------------|-------------|-------|
| 9.10~9.30   | ① 斜面安定工法概説      | 京都大学教授      | 松尾新一郎 |
| 9.30~11.00  | ② 斜面の崩壊機構       | 徳島大学教授      | 小田 英一 |
| 11.00~12.00 | ③ 斜面の調査         | 関西大学教授      | 西田 一彦 |
| 13.00~14.00 | ④ 斜面安定の計画、設計、施工 | 同           |       |
| 14.00~15.30 | ⑤ 斜面の各種安定処理工法   | 京都大学教授      | 松尾新一郎 |
| 15.30~17.00 | 同               | 中堀ソイルコーナー社長 | 中堀 和英 |
4. テキスト：斜面安定工法—指針と解説
  5. 聴講料：3000円（テキスト代1900円を含む）
  6. 見学料：1000円
  7. コース：新吉野川橋（建設省）～旧吉野川河口堰（水資源開発公団）～島田島有料道路（徳島県）～鳴門
  8. 定員：聴講 250名・見学 100名
  9. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名を明記のうえ聴講料を添えて 1971年11月27日（土）までに文書によりお申し込み下さい。
  10. 申込先：土質工学会四国支部（高松市福岡町4丁目26-32 建設省四国地方建設局企画部内  
電話 高松（0878）51-8061）

## 建設用エポキシ樹脂講演会

1. 主催：日本建材開発工業会
2. 後援：土木学会、ほか3団体
3. 日時：第1回（東京）1971年11月12日；会場 東京商工会議所国際会議場  
および会場 第2回（大阪）1971年11月15日；会場 大阪証券ホール  
第3回（名古屋）1971年11月18日；会場 中小企業会館

## OECD トンネル会議の全貌と現場視察報告報告書特別領布について

昭和45年6月22日から26日にわたる、アメリカ合衆国でOECD主催トンネル勧告会議が開催され、わが国から村山朔郎博士を団長とする29名の代表団が派遣された。本報告書は土木学会監修・OECDトンネル会議日本代表団編集により翻訳された貴重な資料である。

### 記

1. 体裁：B5判タイプオフセット印刷 406ページ
2. 頒価：12000円（千とも） 限定出版のため割高となりました。
3. 内容：
  - I. 概要 1.1 日程および場所 1.2 代表団名簿 1.3 会議の経過 1.4 勧告 1.5 現地視察
  - II. 会議の内容 2.1 会議の運営 2.2 冒頭演説 2.3 トンネルの需要 2.4 硬岩トンネル 2.5 開削工事 2.6 土砂トンネル 2.7 沈埋トンネル工法 2.8 研究開発 2.9 パネルディスカッション 2.10 OECD 運輸問題諮問グループ議長声明書 2.11 閉会挨拶
  - III. 勧告書 3.1 OECD トンネル勧告会議の結論と勧告 3.2 勧告書の説明
  - IV. 会議についての各国の意見 4.1 会議の今後の進め方についてのフランス代表の提案 4.2 カナダ代表団の意見 4.3 スペイン代表団の意見 4.4 国際道路会議協会の代表者の意見 4.5 国際鉄道連合の代表者の意見
  - V. 現地視察 ニューヨーク、シカゴ等16件の現場
4. 申込方法：代金を添え、〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会刊行物係へご注文下さい。限定200部のため至急お申し込み願います。

## 土木学会委員会関係出版物案内

▶サンフェルナンド地震（1971年2月）の被害について

耐震工学委員会編

B5判 32 ページ 口絵写真4 ページ 定価 350 円 (〒 70 円)

▶第 17 回橋梁・構造工学研究発表会（新材料・新工法を用いた構造物における諸問題に関する研究）講演概要

45.12.5 開催，日本学術会議構造研究連絡委員会橋梁構造工学分科会・土木学会・日本建築学会共催

B5判 106 ページ，講演 14 編 定価 1000 円 (〒 70 円)

▶第 7 回衛生工学研究討論会講演論文集

46.1.30～31 開催，土木学会主催

B5判 174 ページ，講演 16 編 定価 1500 円 (〒 100 円)

▶第 15 回水理講演会講演集

46.2.12～13 開催，土木学会主催

B5判 93 ページ，講演 14 編，定価 800 円 (〒 80 円)

▶構造物の耐風性に関する第 1 回シンポジウム（1970）論文集

45.5.8～9 開催，土木学会・日本建築学会・日本気象学会・電気学会・日本鋼構造協会共催

B5判 296 ページ，講演 37 編，定価 1500 円 (〒 100 円)

▶流体輸送に関するシンポジウム前刷

B5判 142 ページ，講演 10 編，定価 1000 円 (〒 100 円)

▶土木技術者の海外活動別刷

B5判 54 ページ 口絵写真4 ページ 定価 100 円 (〒 70 円)

▶岩盤力学文献目録（第 3 回）

B5判オフセット印刷，58 ページ，国内および国外の 25 雑誌の文献約 860 種掲載

定価 200 円 (〒 50 円)

▶地震工学文献目録（第 1 回）▶最新刊◀

B5判オフセット印刷，25 ページ，国内および国外の雑誌の文献を集録

定価 250 円 (〒とも)

▶昭和 45 年度水理学研究の現況

B5判オフセット印刷，15 ページ，国内 72 機関で行なっている研究題目および発表資料約 730 題掲載

定価 70 円 (〒 30 円) 郵券可

◎申込先：〒 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会刊行物頒布係（電 03 (351) 4132）